

# 人権を考える

新型コロナウイルス感染症による感染拡大が長期化すると予想される中、目に見えない未知のウイルスへの不安から、感染した方や家族、医療従事者などが偏見や差別に遭う事例が報告されています。いつ誰が感染するかわからない、いつ自分が当事者になるかわからないこの現状を正しく理解し、偏見や差別のない冷静な行動、言動をお願いします。

下記の「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」負のスパイラルを断ち切るために「3つの感染症」を防ぐ（嫌悪・偏見・差別）を防ぐための一助として、日本赤十字社が作成しました。

このガイドは全十八ページになりますが一部抜粋して掲載しています。全ページをご覧になりたい方はインターネットから「日本赤十字社3つの顔を知ろう」で検索してください。

新型コロナウイルスによる感染が流行しています。



実はこのウイルスが怖いのは、「3つの“感染症”」という顔があることです。

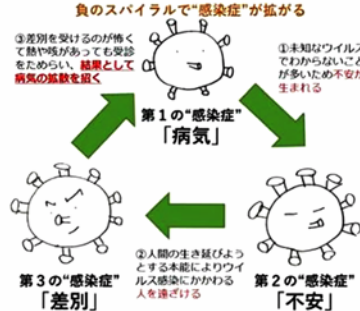
知らず知らずのうちに私たちも影響を受けていることをみなさんにご存知ですか？

ウイルスがもたらす**第3の“感染症”**は**嫌悪・偏見・差別**です

不安や恐れは人間の生き延びようとする本能を刺激します。そして、ウイルス感染にかかわる人や対象を日常生活から遠ざけたり、差別するなど、人と人の信頼関係や社会のつながりが壊されてしまいます。



**3つの“感染症”**は**どうつながっているの？**



この“感染症”の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながるというサイクルです。

**第3の“感染症”**を**ふせぐために**

不安を煽ることは病気に対する偏見や差別を強めます。「確かな情報」を拡めましょう。差別的な言動に同調しないようにしましょう。



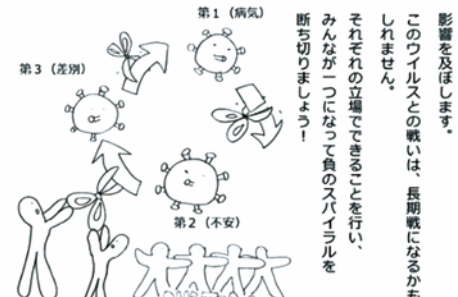
**第3の“感染症”**を**ふせぐために**

みなさんそれぞれの場所で感染を拡大しないように頑張っています。

- ・小さな子どもがいる家庭
- ・高齢者
- ・治療を受けている人とその家族
- ・自宅待機している人
- ・医療従事者
- ・日常生活を送って社会を支えている人

この事態に対応しているすべての方々を**ねぎらい、敬意を払い**ましょう。

**まとめ** 3つの感染症をみんなで見守るために、新型コロナウイルスは、3つの“感染症”という顔を持って、私たちの生活に影響を及ぼします。このウイルスとの戦いは、長期戦になるかもしれません。それぞれの立場でできることを行い、みんなが一つになって負のスパイラルを断ち切りましょう！



## 武石地域総合センター建設通信

武石地域総合センターは、令和3年4月の供用開始に向けて工事が進められています。

3階建て新築棟部分の屋根に瓦が葺かれ、屋根工事が進められています



武石財産区から切り出された木材が加工され武石総合センターの一部に使用されます

旧武石公民館コミュニティホールでは建築基準法に基づき天井高を低くするためシャンデリアが外され内部工事が進められています



製材・加工されブラインドボックスとして設置されました